

## 【2】働くとは

### 〔1〕武生工業高校をとりまく現状

武生工業高校は創立してから50年あまり経過しましたが、その間福井県、特に丹南地域の経済発展のために多くの人材を社会に送り出してきました。

丹南地域は電子関係、自動車関連、化学関連、めがね、繊維、和紙・漆器・打ち刃物など福井県のなかでも製造企業が多く集まっている地域です。本校からの卒業生はこのような製造関連企業や、自動車整備、電気工事、建築・建設関連など専門性の高い企業にほとんどが就職していきます。ここ最近2007年問題などで工業高校への求人数も回復し、丹南地域の求人倍率は1.5～2倍ぐらいで推移していました。

しかし、一昨年米国の大手証券会社の破綻や株価の暴落など世界的な金融不安のために景気が後退し、雇用情勢が大きく変化してしまい、今後の求人に関しては非常に厳しいことが予想されます。

しかし、元気ではきはきしている、挨拶が出来る、遅刻欠席がないなどの人間性はもとより、より専門的な技術・技能を身につけた人材を求める傾向に変わりありません。より高度な知識・技能を必要としている企業では採用主力を高校生から大学生・専門学校生に移している場合があります。

武生工業高校では約6割の人が就職、4割の人が進学をしていきます。進学する人も将来は全員が何らかの形で仕事に就き、私たちの周りの社会・経済を支えていかなければなりません。「なぜ働くのか」という問題に関して自分自身の問題としてとらえ、常に考えしっかりとものにしていける必要があります。将来の目標を見定め、これから卒業までの高校生活が充実したものになるよう期待しています。

★武生工業卒業生  
約10000人

★武生・鯖江は  
製造企業が多い地域

★H20年度  
丹南地域求人  
倍率 1.84 倍

★高卒求人にも  
高い専門性・能力が  
要求される

★武生工業高校  
H21進学率36.1%



### 〔2〕なぜ働くのか

#### ①社会的役割を果たす（あなたはどの様に社会に貢献しますか？）

両親を初め、君たちの周りにいる大人の人はずべて何らかの形で、仕事に就き社会の役割を果たしています。ものを作る人、運搬する人、ものを売る人などさまざまですが社会の維持・発展に寄与しています。「自分はどのような形で“世の中”に貢献したいのか、していくのか」また具体的には、「どの様な進路（就職・進学）、職種・会社ならそれができるのか」を考える必要があります。

#### ②自己の存在の確認と成長（これからの人生を豊かにするには）

長い人生の中で、就職することは一つの目標ですがそれで終わりではありません。仕事を通じ、能力の向上や人格の育成をはかることは、人間としてとても大事なことであり、これからの自分の人生を豊かなものにつなげます。

#### ③生活の基盤は労働と賃金

労働には、それに対する正当な給料が支払われます。この収入で私たちは生計をたてているのですから、決して軽く考えることは出来ません。しかしお金をたくさん儲けることが一番大事な人生の目的ではありません。をふまえた上で考えていく必要があります。

